

議会だより

あっさぶ

令和元年 8 月

No. 105

題字は、厚沢部町認定こども園
ししまい組の松橋 ^{まつはし} ^{れん} 蓮さんです。



7月19日 夕涼み会（認定こども園）



STOP!! ジャガイモシストセンチュウ

～日本一のブランド「あっさぶメイクイン」を守ろう!～

新しい議会構成が 決まりました

議長に **鈴木祥司氏(再)**
副議長に **佐々木宏氏(再)**

統一選挙後の初議会となる第2回臨時会が5月8日に招集されました。
この議会では議長、副議長の選挙、各常任委員会委員の選任など、新しい議会構成が決まりました。



鈴木 祥司
議長(鶉町)
(62歳) 当選5回



佐々木 宏
副議長(稲見)
(66歳) 当選7回
産業厚生常任委員会

議長、副議長選挙の投票結果は次のとおりです。

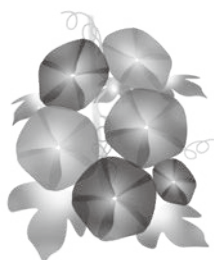
○議長選挙

鈴木 祥司 5票
高田 一弥 5票

○副議長選挙

佐々木 宏 5票
高田 一弥 5票

※議長選挙・副議長選挙ともに投票数が同数であったため、公職選挙法第95条第2項の規定を準用して、くじで当選人を決定しました。



常任委員会委員等は次のとおり決まりました。

委員会

□総務文教常任委員会

委員長 高田 一弥
副委員長 松村 松雄
委員 中山 俊勝
上戸 昌行
山田 克哉

□産業厚生常任委員会

委員長 浜塚 久好
副委員長 香川 直樹
委員 山崎 孝
佐々木 宏

□議会運営委員会

委員長 中山 俊勝
副委員長 浜塚 久好
委員 上戸 昌行
香川 直樹

□議会広報編集特別委員会

委員長 松村 松雄
副委員長 上戸 昌行
委員 山田 克哉
香川 直樹

一部事務組合議会議員

○檜山広域行政組合議会議員

山田 克哉
香川 直樹

○南部松山衛生処理組合議会議員

上戸 昌行

監査委員(議代表)

山崎 孝議員の選任が提案され、同意しました。



山田 克哉
(館町)
(51歳) 当選1回
総務文教常任委員会



松村 松雄
(赤沼町)
(68歳) 当選3回
総務文教常任委員会



山崎 孝
(鶉)
(71歳) 当選5回
産業厚生常任委員会



中山 俊勝
(鶉)
(69歳) 当選8回
総務文教常任委員会



高田 一弥
(本町)
(66歳) 当選5回
総務文教常任委員会



浜塚 久好
(富栄)
(71歳) 当選3回
産業厚生常任委員会

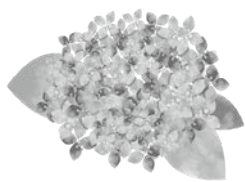


上戸 昌行
(富栄)
(66歳) 当選1回
総務文教常任委員会



香川 直樹
(緑町)
(42歳) 当選1回
産業厚生常任委員会

(年齢は8/15日現在です)



**副町長に松橋道雄氏を
選任**
副町長の選任について審議
し、無記名投票の結果、賛成
9票、反対0票で松橋道雄氏
が選任されました。



●厚沢部町国民健康保険税率
例等の一部を改正する条例の
専決処分の承認

●厚沢部町税条例等の一部を
改正する条例の専決処分の承
認



まちの議会を傍聴してみませんか

町政はあなたのために

次の定例会は9月10日(火)からです。

(一般質問開始予定：10日午前10時20分頃～)

手続きは、議会事務局備え付けの傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけです。



農業生産安定化特別対策事業費補助金など

2億3182万6千円を補正 総額41億1382万6千円

令和元年第2回定例会が6月18日から19日までの2日間の会期で開かれ、補正予算等19件を審議し、いずれも原案どおり可決されました。

補正予算

一般会計

今回は統一選挙後の最初となる定例会で、当初予算にならない政策的な予算が計上されました。

歳入歳出それぞれ2億3182万6千円を追加し、総額41億1382万6千円となりました。
追加補正された主なものは次のとおりです。

- 庁内ネットワーク機器整備委託料 (1552万6千円)
- 生活維持路線バス運行費補助金 (1174万1千円)
- プレミアム付商品券事業費補助金 (380万円)

- 高齢者等冬期生活支援事業給付費 (300万円)

- 介護保険事業特別会計繰出金 (508万1千円)

- 国保病院事業特別会計繰出金 (1141万7千円)

- 小規模土地基盤整備事業費補助金 (450万円)

- 地力増進対策事業費補助金 (450万円)

- 農業生産安定化特別対策事業費補助金 (1500万円)

- 畑作構造転換事業費補助金 (588万2千円)

- 野菜生産振興事業費補助金 (300万円)

- 農道整備用砂利購入費 (524万9千円)

- 土壌分析装置購入費 (588万8千円)

- 未来につなぐ森づくり推進事業費補助金 (715万円)

- 民有林除間伐推進事業費補助金 (487万2千円)

- 森林環境譲与税基金積立金 (931万2千円)

- 災害対策用備品購入費 (968万4千円)

- 学校管理用備品購入費 (1053万2千円)

質疑応答(要旨のみ)

問 今年度から設けられた子育て支援アドバイザーの業務内容を教えてください。

答 昨年10月から開設された公営塾と、今年4月から開設された認定こども園で、スタッフのサポート、保護者の対応、職員体制の強化を目的として専門員を配置しました。

問 プレミアム付商品券事業について教えてください。

答 今回は、国からの全額補助事業で、購入可能な対象者が限定されています。

対象者の条件は、今年度の住民税非課税者、3歳未満の子育て世帯主の方が対象です。住民税非課税の方は、役場保健福祉課福祉係へ申請が必要となります。

対象者一人当たりの購入上限額は2万円で、5千円のプレミアムがついて、券面額は2万5千円です。

購入については、町から回覧・チラシ等を配布します。

問 旧館保育所トイレ等改修工事費について教えてください。

答 今年度、農業アルバイト募集事業の参加者が約50名程となり、旧館保育所を宿泊所として活用するため、大人用トイレに改修するものです。

問 厚沢部小学校・鶴小学校の改修工事について教えてください。

答 厚沢部小学校は、体育館から渡り廊下にかけて、塗装がはげ落ちる等の劣化が見られ、屋根の補修・改修を実施します。

鶴小学校は、校舎正面にある塔の付近から雨漏りがあり、この改修工事を予定しています。

問 AR・VRを活用した館城跡の保存整備事業の内容について教えてください。

答 館城の当時の現状を知ってもらうために、AR（拡張現実）・VR（仮想現実）というスマホ等を利用した映像での復元という形で、保存整備事業を進めていく予定です。

問 パークゴルフ場券売機について教えてください。

答 年内に設置し、周知する予定ですが、利用方法は、料金を支払って受付したと認識できるように帽子・ポケットに貼れるシールを配布し、プレイ代は1日200円で町外の方を対象と考えています。

介護保険会計

歳入歳出それぞれ60万5千円を追加し、総額6億4023万6千円となりました。補正の内容は、介護保険システム改修委託料です。

国保病院会計

収益的収入及び支出についてそれぞれ674万8千円を追加し、予定額5億29万6千円に、資本的収入及び支出についてそれぞれ466万9千円を追加し、予定額466万9千円となりました。補正の内容は、医師採用に係る人件費及び血球計数装置等の購入費です。

各会計補正予算額一覧表

区分		補正額	補正後の額
会計名			
一般会計		2億3182万6千円	41億1382万6千円
介護保険事業特別会計（保険事業勘定）		60万5千円	6億4023万6千円
国民健康保険病院事業特別会計	収益的収入及び支出	674万8千円	5億29万6千円
	資本的収入及び支出	466万9千円	466万9千円

問 国保病院医師増員の内容をお願いします。

答 医師の働き方改革に伴い、医師の労働環境を整えるため、今回医師を1名採用し、医大に依頼していた土日の宿日直を全て常勤医で対応する予定です。

質疑応答（要旨のみ）

条

例

●厚沢部町森林環境譲与税基金条例の制定

●厚沢部町半島振興地域企業立地促進のための固定資産税の不均一課税に関する条例の制定

●厚沢部町乳幼児及び児童生徒医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

●厚沢部町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

●厚沢部町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

●生活改善センター等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

●厚沢部町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例の制定

●厚沢部町国民健康保険病院の使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定

規約

●北海道市町村職員退職手当
組合規約の変更

●北海道市町村総合事務組合
規約の変更

●北海道町村議会議員公務災
害補償等組合規約の変更

財産の取得

●戸籍総合システム

報告

●厚沢部町一般会計繰越明許
費の繰越

平成30年度に予算措置され
たプレミアム付商品券事業等
の54万5千円を令和元年度
に執行するものです。

議員派遣

●議員研修会（道議長会主催）

目的 分権時代に対応した
議会の活性化及び議

員の資質向上を図る。

場所 札幌市
期間 6月25日
議員 全議員

●新任議員研修会

目的 新任議員を対象とし
て、議会運営、議会
の活性化及び議員の
資質向上を図る。

場所 札幌市
期間 7月9日
議員 上戸昌行
山田克哉
香川直樹

●総務文教常任委員会視察研

目的 義務教育学校、ちょ
つと暮らし住宅を活
用した移住対策につ
いて視察し、今後の
行政推進の参考とす
る。

場所 白糠町、新ひだか町
期間 7月17日～19日
議員 高田一弥
松村松雄
中山俊勝
上戸昌行
山田克哉

●産業厚生常任委員会視察研

目的 地域ブランドや外国
人労働者を活用した
農業振興の実践を視
察し、今後の行政推
進の参考とする。

場所 帯広市、士幌町、更
別町、恵庭市
期間 7月29日～31日
議員 浜塚久好
香川直樹
山崎孝
佐々木宏
鈴木祥司

●全道議会広報研修会

目的 議会、だよりの編集技
術向上と読者普及発
展に資するため、町
村議会広報の事例発
表と貢献を研修する。

場所 札幌市
期間 8月20日
議員 松村松雄
上戸昌行
山田克哉
香川直樹

表彰

北海道町村議会議長会 から自治功労表彰

北海道町村議会議長会から
佐々木宏議員が町議会議員と
して25年以上にわたり地域の
振興に貢献した功績により表
彰され、6月定例会の冒頭に
伝達されました。



意見書を提出しました

第2回定例会で意見書2件を原案どおり可決し、関係省庁に提出しました。（内容省略）

●「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担金制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現に向けた意見書
提出先 内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、内閣府特命大臣（地方創生規制改革）

●2020年度地方財政の充実・強化を求める意見書
提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣（地方創生規制改革）、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）

一般質問

～聞いてみたい、こんなこと～

企業誘致について

中山 俊勝議員

質問 1

規模や財源、整備手法等を整理、検討しながら、企業誘致への施策を講じていきたい

渋田町長



中山議員

問

町長は町政執行方針、選挙公約の中で企業の誘致ということ掲げていますが、鵜ダムを利用した水力発電、天然ガスの活用等、今後どう考えるのか説明してください。

答

企業誘致については、雇用拡大や経済波及効果など、地域経済への即効力があるところで、企業から提供される様々な情報は企業誘致を進めるうえでも、大変重要なものです。

規模や財源、整備手法等を整理、検討しながら、今後とも企業誘致に結びつための

施策を講じていきたいと考えています。

また、天然ガス、水力発電は、色々な企業と折衝しており、こちらの条件に合うものを、選別している状況です。

質問 2 鵜ダムの活用と管理運営について

問

①危機管理体制はどのようになっていますか。

②満水時の大雨対応・対策はどのようなになっていますか。

③漏水はどの程度あるのか想定していますか。

④非常時の住民周知体制をどのように考えていますか。

⑤訓練等を考えていますか。

⑥ダムの利用が進展していま

せんが、現況の考えをお聞きしたいと思います。

常時監視、機器の定期点検などの管理を行っている

(渋田町長)

答

現在、町は鵜ダム管理条例を制定し、北海道開発局は鵜ダム管理規程を定めています。管理は、町が厚沢部土地改良区に委託して、貯水位データ及び遠隔力メラによる常時監視、機器の定期点検などの管理を行っています。

①危機管理体制は、町と厚沢部土地改良区の両者で対応しています。

②大雨警報等の発令が予測される場合は、要員確保と関係機関への通報に加え、必要に応じて河川の状況確認を実施しています。

③漏水の程度については、それを常時監視するため漏水量が設置されています。また、今年3月に有識者や専門家を構成員とした農業用ダム安全性評価委員会の調査報告書がまとまり、鵜ダムについては、

全体浸透水量が概ね管理基準値以内で安定しているとの評価を受けています。

④非常時の住民周知体制については、一般住民に周知させるための措置として、サイレン及び警報車の拡声器にて必要な時期に行うこととされています。

⑤訓練等については、厚沢部土地改良区がノウハウを蓄積しており、改めての訓練は必要ないと認識しています。なお、住民避難訓練等は未実施ですが、今後サイレンなど管理体制に関することについては、町内会を通じお知らせする機会を設けたいと思っています。

⑥ダム利用進展の現況の考えについては、平成24年度の畑地かんがいモデルほ場設置事業を最後に、新たな幹線の整備は実施していないのが現状です。

質問 1

厚沢部町における地方創生の 取組みについて

佐々木 宏議員

人口減少時代に対応したまちづくりの形成に取組む

洪 田 町 長



佐々木議員

問

地方創生という政策に対し、現在の取組みや今後、持続性や発展性のある地域づくりをどのように進めるのか、次の4点について、伺います。

- ① 安定した雇用と産業を創出するまちづくりについて
- ② 厚沢部町への新しい人の流れをつくる施策について
- ③ 子育て環境の支援策について
- ④ 時代に合った新たな町、厚沢部町の形成と推進について

答

① 総合戦略においては、本町の基幹産業である農林業を軸に、所得の向上や雇用機会の

創出など基本的方向を定めています。これまでの実績として、新規就農者への支援、アントナショップの開設、プレミアム商品券の発行、ブランド化に向けた力ボチャの販売支援などを行ってきました。今後は、地域内エネルギーの活用とスマート農業の展開を前進させたいと思っています。

② 生涯活躍のまち実現の為の拠点形成として、移住体験住宅の整備、給食センター、こども園新設の他、交流人口の拡大として、各大学のアウトキャンパス事業や小学生修学旅行の誘致、道の駅再編整備等を進めてきました。移住を直接促す取組みに加え、定住に至らないものの、地域に継続的に関係人口の拡大に取組みたいと思います。

③ 不妊治療助成や出産祝い金支給、子育て世代の為の学校給食費や保育料補助、持家建

設奨励金等の施策を実施してきました。また、昨年10月から公営塾の開設、今年4月から発達支援を含めた認定こども園を開設し、子育て環境の充実に努めてきました。医療費助成については、中学生から高校生まで対象範囲を拡大し、更なる子育て世代の負担軽減を図りたいと思います。

④ 新たな拠点整備として、上里ふれあいセンター、総合給

食センターを整備した他、医療や観光等の連携効果を發揮するため、定住自立圏域形成協定事業や管内7町連携による東京大田区との交流事業で地域間連携の強化を図っています。今後は、人口減少時代に対応したまちづくりへの変換が求められています。地域の特性に応じた一定規模のコンパクト化とネットワークの形成に取組みたいと思います。

質問 1

小学校の統合、小中一貫教育について

香川 直樹議員

保護者へアンケート調査を実施、検討会の開催も考慮する

鈴木 教育長



香川議員

問

5月17日に鶉小の保護者達が、小学校の統合を求める要望書と署名を教育委員会に提出しました。小学校の統合について、教育長の考えを教え

答

平成30年度に3中学校が統合、新生厚沢部中学校が開校し、今年度から認定こども園が開園しました。認定こども園という同一の教育環境で共に過ごした子供達が、小学校就学時には、各地区の小学校に分散し、6年間の初等教育を終えた後、統合中学校で再

問

将来の展望として、施設一体型の小中併設校を新設する考えはありますか。

答

各小中学校共に校舎の経年劣化が著しい状況ですが、町の財政への考慮が必要です。校舎は、築50年から60年で新築や改築が一般的であり、それ以前に新築となると、補助金の返還等が必要となる可能性もあるので、現時点ではお答えできません。

再質問

質問 1

渋田町政4期目の戦略について

山崎 孝議員

まち・ひと・しごと創生総合戦略の維持

渋田町長



山崎議員

問

執行方針では「住みよい、活力のある、元気で輝く厚沢部」を実現するとありますが、本町の人口減少対策は、最大の行政課題だと思えます。4期目に向けた行政戦略について考えを教えてください。

答

全国的な少子高齢化で、人口減少が続く、本町も減少に歯止めがかからない状況です。人口減少の克服と地域創生を目指し「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、施策展開してきましたが、4期目の町政を担うにあたり、4つの基本目標を公約に掲

げ、全力を注いでいきます。まずは、現行の地方創生総合戦略を維持し、人口減少への対応に関する方向性として、「安定した雇用と産業を創出する」、「厚沢部町への新しい人の流れを作る」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代に合った厚沢部町をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域間連携を図る」の4つを基本目標に定め、各種施策を展開していきま

す。長年築いてきた知識、経験、人脈を最大限に活かし、気力と体力を充実させ、全力で本町の成長を先導していきたいと思います。

質問 2

小学校の再編成について

問

子どもたちの才能・能力を育て、開花させるチャンスは義務教育の期間であると考えています。9年間の義務教育を、どのような教育環境で体験させるかは、子供の成長に大切なことであると考えています。幼児から中学生までの一貫した教育体制を構築したいという、教育長の小学校再編についての今後の考え方を聞かせ下さい。

各方面の意見を十分に踏まえ執り進める
(鈴木教育長)

答

子ども達の能力や可能性の開発・発展における機会・チャンスは、子どもの人生を大きく左右するものであり、よりよい機会の提供こそ最大の責任であると考えています。鶴小保護者から就学前6年間と、義務教育9年間の円滑な接続を含む15年間を通して、より良い教育環境を望む要望があがっています。小学校の再編については、各校舎の経年劣化等の現状を踏ま

え、各小学校区において厚沢部町義務教育の未来と小学校の適正配置に係る検討会を開催し、小学校適正配置基本計画の策定に向けた教育委員会

質問 1

遊休農地の活用について

浜塚 久好議員

荒廃農地発生の抑止と発生後の両面で検討と対策が必要

渋田町長



浜塚議員

(等)を奨励することについて

答

①現在把握している面積は2万2千952㎡であり、平成30年10月26日に調査しました。②荒廃農地の発生抑止と発生後の農地復旧の両面での検討と対策が必要と考えています。③発生した荒廃農地の復旧は国の補助事業である荒廃農地活用促進交付金を活用し、農地再生を行っています。④耕作者は、土壌や用排水、営農形態、輪作体系、販売など諸々の条件を勘案し作物を決めており、換金作物遊休農地に作付するには、それ相応の投資や、費用対効果の判断

問

耕作放棄地、遊休農地の増加が懸念される状況に、町としてどのように対応したのか、また今後の対策について町長の考えを教えてください。

①現在の遊休農地の面積と調査月日は

②遊休農地と見なされた土地の対策は

③遊休農地、耕作放棄地の増加に対する対策は

④遊休農地に換金作物(果樹

が必要となり、現時点で遊休農地の利活用意向のある生産者は把握していません。

質問2 空き家対策について

問

空き家の放置により景観の悪化、犯罪誘発、倒壊等が懸念されますが、次の7点について、教えてください。

- ① 空き家の件数は
- ② 住宅以外の建物は調査したか
- ③ 倒壊などの恐れのある特定空き家（建物）はあるか
- ④ 持主不明の空き家はあるか
- ⑤ 空き家の具体的な利活用は
- ⑥ 解体等に補助金を出す考えはあるか
- ⑦ 空き家の増加に対する総合的な対策は

答

- ① 空き家の件数は、平成29年の調査時で、空き家は186戸、そのうち大規模な修繕が必要なものは28戸、小規模な修繕が必要なものは83戸、状態の良いものは75戸です。
- ② 住宅以外の建物は調査対象としていません。
- ③ 即解体が必要と思われる建物はほとんどありませんが、屋根の破損や老朽化が著しい建物がありました。
- ④ 現在のところ11戸です。
- ⑤ ちよつと暮らし住宅や賃貸での活用のほか、北海道空き家バンクへの情報提供や、一般社団法人移住・住みかえ機構への登録を促す体制を執っています。
- ⑥ 空き家は個人の財産であり、所有者自らが管理することが原則です。自ら解体している町民も既にいるため、税金を投入することは慎重に進めなければならないと考えています。
- ⑦ 引き続き所有者の把握と意向調査を進めながら、空き家の有効活用を図りたいと思います。また、解体等が必要な空き家については、今後も行政指導を行っていく方針です。

所有者の把握と意向調査を進め空き家の有効活用を

（浜田町長）

委員会活動

町議会に設置されている総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会では、今年度の所管事務調査の内容を次のとおり決定し、7月から調査を開始しています。

○総務文教常任委員会

- ・給食センターの運営状況について
- ・公営塾の運営について
- ・ふるさと納税について
- ・レクの森の管理状況について
- ・ハチャムの森の運営状況について
- ・道の駅の今後の改修計画について
- ・素敵な過疎づくりの現状と課題について（道の駅運営状況、ちよつと暮らし住宅）
- ・その他

○産業厚生常任委員会

- ・町単独補助事業（農業振興費）について
- ・農地中間管理機構関連整備

事業（稲見地区）及び農地整備事業（滝野地区）について

- ・認知症対策について
- ・チップボイラーの稼働状況について
- ・認定こども園の運営状況について
- ・国保病院の現状について
- ・有害鳥獣対策について
- ・その他

【お詫びと訂正】

令和元年5月発行議会だよりNo.104の表紙の題字氏名が細畑映蓮さんとなっていました。正しくは細畑映蓮さんとなります。訂正してお詫びいたします。

編集後記

今年は、山背（偏東風）が一段と強く、雨が極端に少ないため畑はカラカラの状態となりました。農作物の生育に影響が出ないか心配でしたが、ようやく馬鈴薯の収穫や秋まき小麦の収穫が始まり、ひと安心しているところです。「議会だより」が皆様のお手元に届くころには、

「秋風」も感じられる頃になっているものと思います。

令和元年の初議会（5月開催）で、人事案件が可決され、新人議員3名が広報編集委員に指名されました。出来る限り解り易い広報の編集に努めて参りたいと思いますので、どうか宜しくお願い致します。

先に、札幌で行われた新任議員研修会に参加させて頂きました。多分、私が最年長ではないかと思っていましたら、全道から町議が300名弱出席され、明らかに80歳以上の議員も沢山いて、私も年齢的には「ヒヨッコ」の部類で身の引き締まる思いで帰って来ました。

さて、もう間もなく町内各地で秋祭りが行われる季節となりました。これからの当町は美味しいもので溢れてきます。甘いメロンやスイカ・スイートコーン、ホクホクでおいしいジャガイモ・かぼちゃなど沢山ありますが、コレステロールや血糖値を気にせず、旬の味覚を楽しむたいものです。また、造る方も大分少なくなっているようですが、個人的には大好物の「豆漬け」は絶対に欠かせません。

（う）

□議会広報編集特別委員会

委員長 松村 松雄
副委員長 上戸 昌行
委員 山田 克哉
委員 香川 直樹